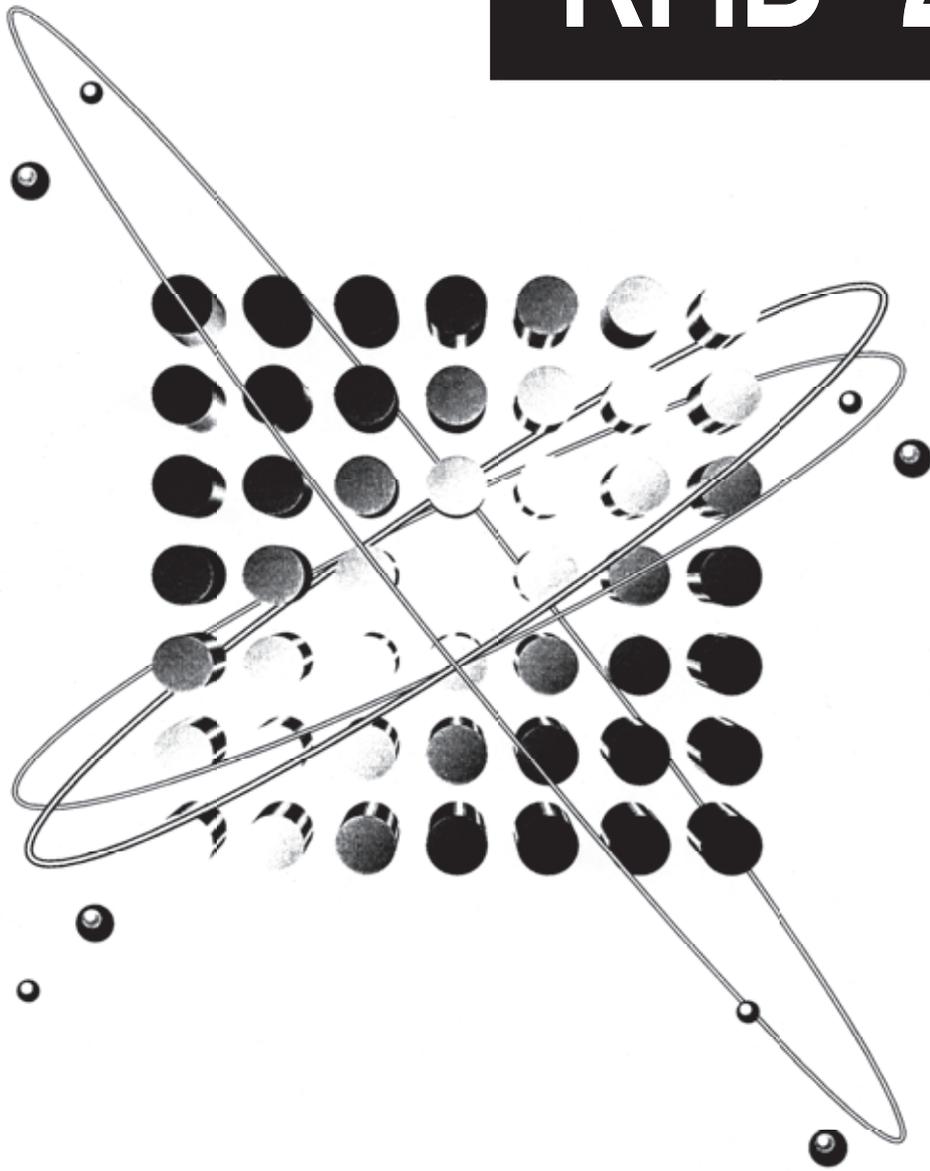


 **SUZUKI**

音響反射板

RHB-200



このたびはスズキ音響反射板RHB-200をお買い上げいただきまして
誠にありがとうございます。

本製品を末永く、そして安全にご使用いただくため、この取扱説明書を
必ずお読みください。お読みになった取扱説明書は、なくさないように
大切に保管して下さい。

ご注意

音響反射板は、演奏者の背後に置いて使用するものです。室内での置き場所や日常の取り扱いについて、安全にご使用いただくための注意をお願いします。

警告

設置は平らで丈夫な床に

床が傾いていたり、床面に段差がありますと、音響反射板の設置が不安定になります。水平で丈夫な床に設置してください。



反射板で手や指を挟まないように

音響反射板の開閉は静かに行ってください。指や手、体の一部などが巻き込まれますとケガをする恐れがあります。



反射板にものを掛けしないでください

音響反射板にものを掛けしないでください。安定性がぐずれて壊れたり、場合によってはケガにもつながりかねません。



反射板で遊ばないでください

音響反射板に乗ったりぶら下がったりしないでください。反射板が転倒したり壊れたりして、事故が生じる恐れがあります。音響反射板は、使用目的以外には使用しないでください。



まわりで遊ばないでください

音響反射板の近くで遊びますと、頭などをぶついたり、反射板を倒したりする恐れがあります。お子さまがまわりで遊ばないように注意してください。



地震の時は近づかないで

地震により、音響反射板が移動・転倒する恐れがあります。地震の際には反射板に近づかないようにしてください。



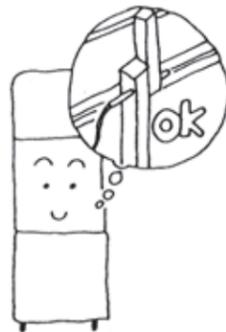
設置はおとな2人以上で

音響反射板の設置は、おとな2人以上で行ってください。こどもまたは1人で設置を行うと、転倒したり、指や手、体の一部を挟む恐れがあります。



差込ピンは4カ所とも差してください

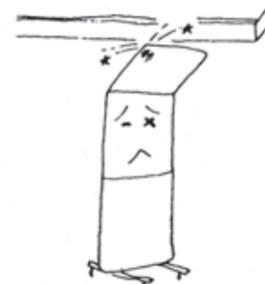
差込ピンは4カ所とも確実に差し込んで設置してください。ピンが差し込まれていないと、衝撃などを受けた際、反射板が倒れ思わぬケガをする恐れがあります。



注意

設置は広い場所で

音響反射板の設置は、高さ3.4m以上の十分に広い場所で行ってください。狭い場所で設置すると、指や手、体の一部を傷つける恐れがあります。



床を傷つけたり汚したりしないように

音響反射板を移動する場合、キャスターで傷をつけたり、汚したりする恐れがあります。ゆっくりと、いねいに移動してください。



ガススプリングに衝撃を与えないで

ガススプリングを持って移動したり、たたいたり引っ張ったりしないでください。故障の原因になります。



ガススプリングにビニールを近づけないで

ガススプリングにビニール類を近づけないようにしてください。故障の原因になります。



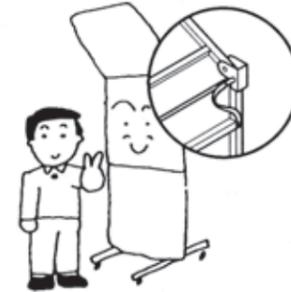
点検は専門家に

音響反射板を分解したり取り外したりしないでください。手や指を傷つける恐れがありますので、点検は専門家に依頼してください。



角度調整部のロックについて

角度調整後は必ず2カ所とも差込ピン(短)を差し、ロックしてください。また角度調整はピンがはずされていないことを確認してから行ってください。(無理に動かそうとすると故障の原因になります)

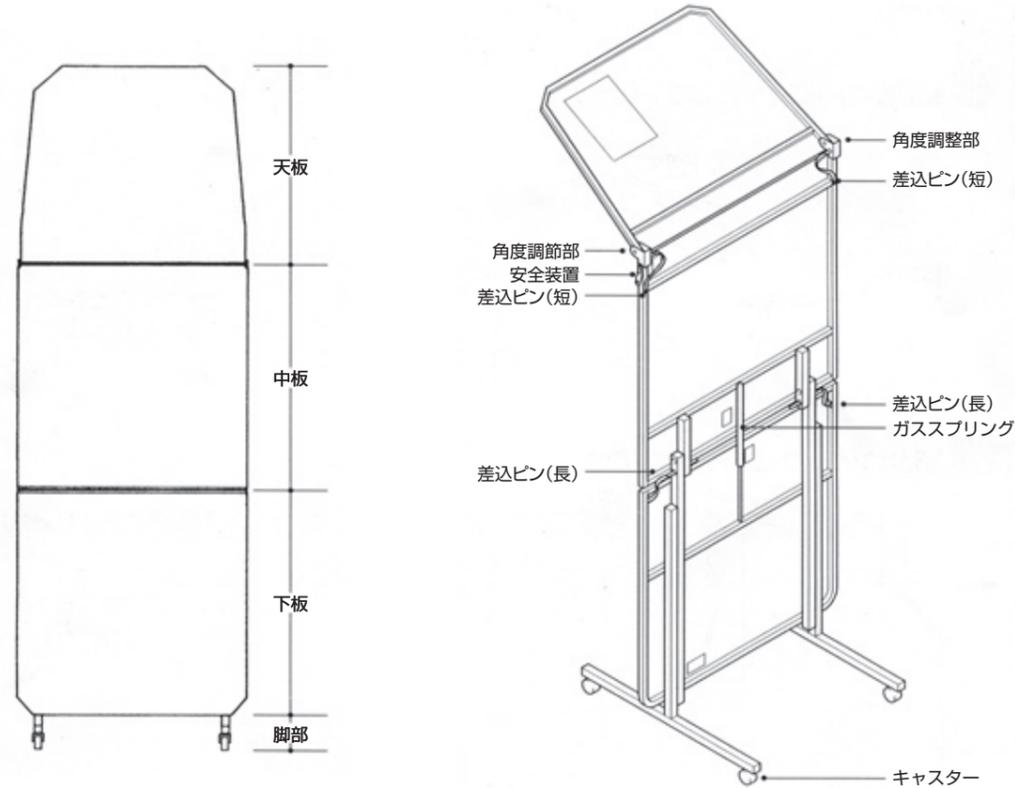


収納時は反射板を固定してください

収納時は差込ピン(長)が2カ所とも差し込まれ、ベルトのバックルがロックされていることを確認してください。しっかりと固定されていないと、接触・衝撃を受けて反射板が開き思わぬケガをする恐れがあります。

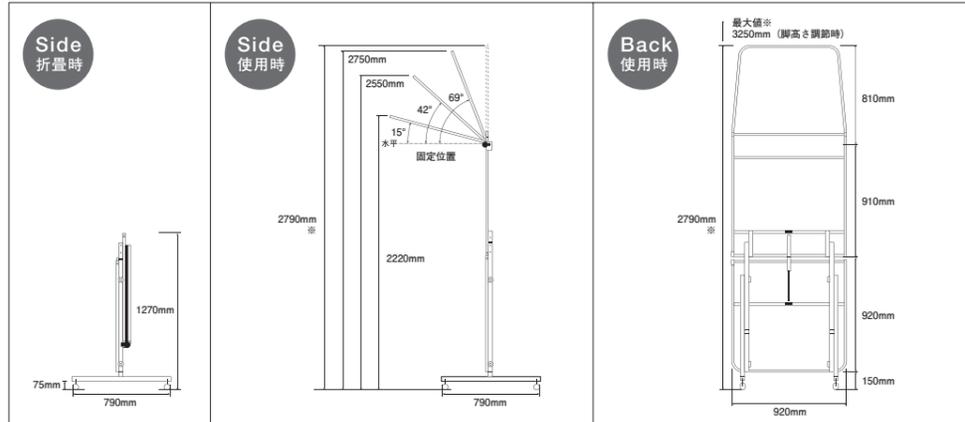


各部の名称



使用例	(人数)	枚数
●ソロ	(1人)	3枚
●4重奏	(4人)	5枚~
●合奏	(5~15人)	6枚~
●合奏	(30人)	8枚~
●大合奏	(~100人)	12枚~

寸法



※垂直にした場合の参考寸法です。本製品は垂直状態での使用はできません。

特長

音響反射板は、演奏者の背後において使用するものです。反射板により、演奏者は自分の音がより聴きやすくなり、気持ちよく演奏することができます。

スズキ音響反射板の特長

1. 天板の角度を27°ごと3段階に調節することができます。
2. 高さが2段階に調節できます。(脚部位置調整による)
3. コンパクトに折りたたむことができるため、収納時に場所をとりません。

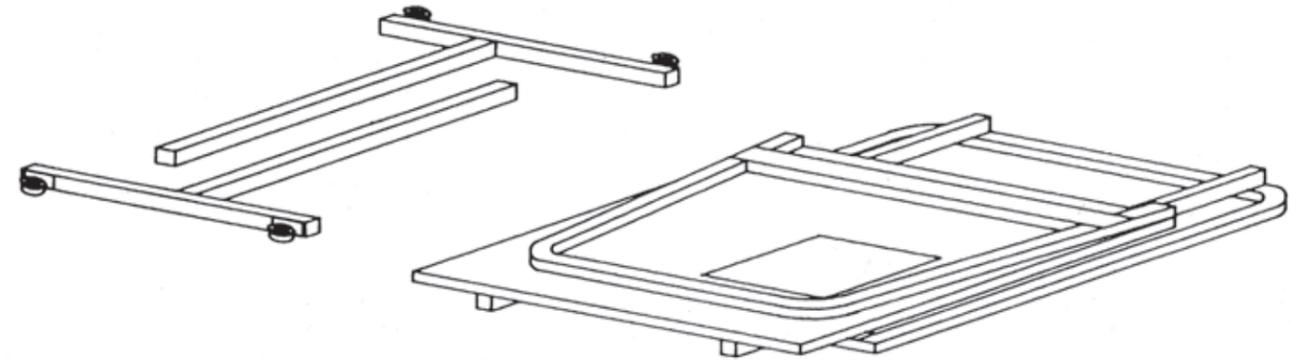
仕様

パネル材質	アルミ複合プレート
高さ調節	2段階
角度調節	3段階
カラー	アイボリー
最大寸法	幅920×奥行790×高さ3250mm
重量	24kg

設置方法

1. 脚部の取り付け方 必ず2名以上で行ってください。

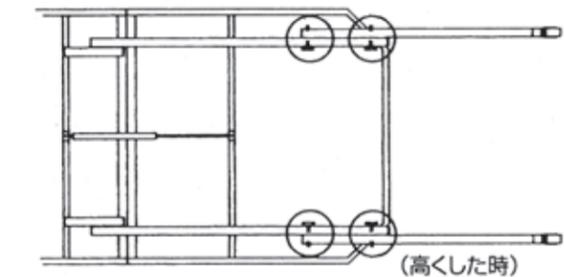
① 反射板本体を取り出します。



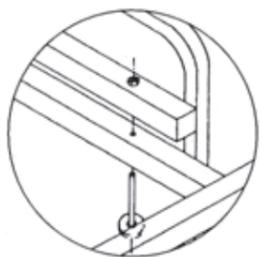
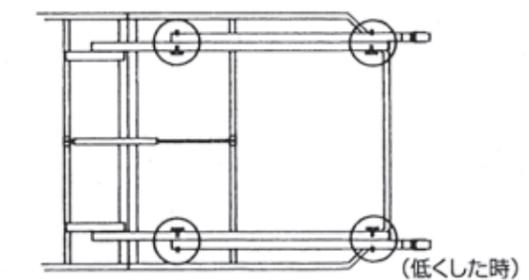
② 差込ピンを抜き、反射板を広げます。



③ 反射板の高さを決め、ノブボルトで固定します。



ノブボルトはしっかりと締めてください。
(工具を使う必要はありません。手で充分締められます。)



反射板の高さは2段階の設定が可能です。

⚠ 注意

反射板を広げるときはガススプリングの力が加わるため、充分注意して開いてください。またストッパーのひもがかかっていることを確認してください。

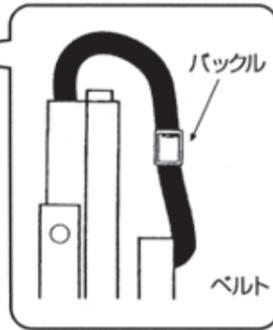
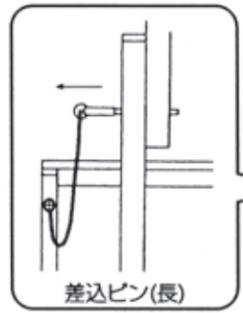
④ 反射板を閉じ、差込ピンを差し込みます。

⑤ 反射板を起こして、ストッパーのひもを取り除いてください。

設置方法

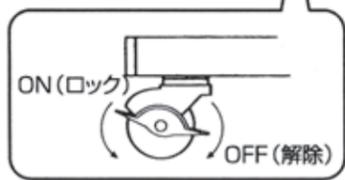
2. 使用時の設置 必ず2名以上で行ってください。

3 差込ピン(長)を2カ所はずします。



2 ベルトについたバックルをはずします。

1 キャスターをロックします。(4カ所)

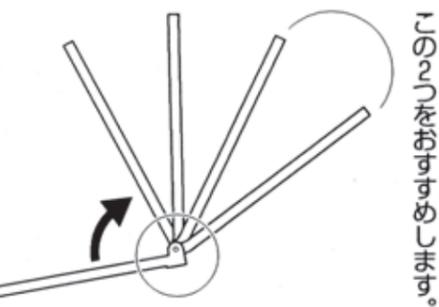
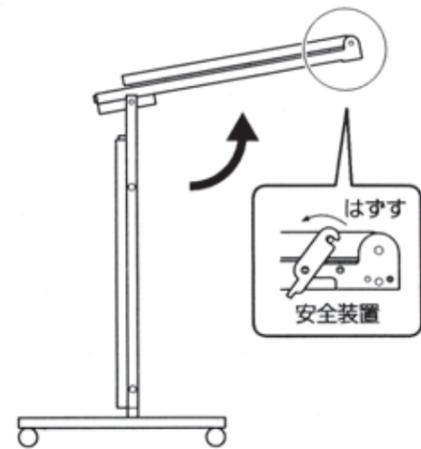


5 反射板を開くと図のように4段階でカチャカチャとラッチが入りますので、希望の位置で止め、差込ピン(短)を内側から2カ所セットします。

4 反射板を任意の位置まで持ち上げ、安全装置をはずします。

注意

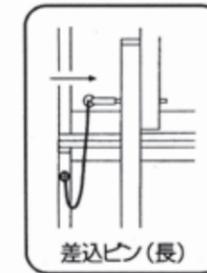
反射板は重いので手をはさまないようにしてください。



※行き過ぎた場合は1度180度以上に開き、折りたたんで再度やりなおしてください。



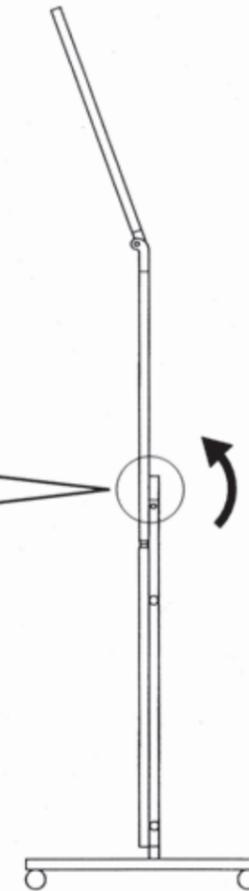
6 反射板を垂直状態に持ち上げ、差込ピン(長)を外側から2カ所セットします。



注意

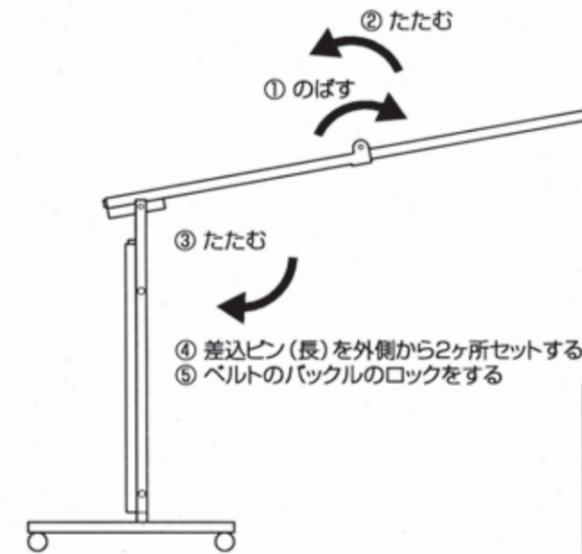
差込ピン(長)は2カ所あります。組立時以外は必ず2カ所ともピンを差しておいてください。

7 設置場所に移動させる場合は、キャスターのロックをはずし、移動後に再度ロックをしてください。



収納方法

収納は設置の逆の順序で行ってください。



※差込ピン(短)を2カ所外したあと、1度反射板を180度以上に(止まるまで)のばしてください。その後折りたたみ、差込ピン(長)を外側から2ヶ所セットして下さい。

注意

収納時には必ず差込ピン(長)をセットし、ベルトをかけてバックルのロックをしてください。

株式会社 鈴木楽器製作所

〒430-0852 静岡県浜松市中区領家 2-25-12 ☎(053)461-2325



メールでのお問い合わせは下記まで
info@suzuki-music.co.jp